

社会福祉法人くじら 関口フェルマータ小規模保育園

令和6年度保育園自己評価

平成30年4月1日より適用となった新保育所保育士指針では、「保育所は保育の質の向上を図るため、保育計画や保育士等の自己評価結果を踏まえ、園の保育内容等について評価を行い、その結果を公表するよう努めなければならない」と明記されています。

関口フェルマータ小規模保育園では、同指針に基づく令和6年度の自己評価結果について次のとおり公表します。

<保育理念>

友達、保育士、給食など、保育園にしかないたくさんの出会いや体験が、子どもたちの心の中に「余韻」となっていていつまでも鳴り響くこと。

<保育目標>

- ① 友達と一緒に遊ぶことも
- ② 自分で考え行動することも
- ③ 命に感謝してたくさんたべることも

<提供する特定地域型保育>

- ① 子どもたちの心身の健康を育み、自発や自立を支えて表現力や想像力を培います。
- ② 子どもたちの自身の感性を丁寧に伸ばします。
- ③ 給食は自園調理とし、それぞれの月齢にあった食事を提供し、食体験を育てます。
- ④ 給食は、園児毎に主食、主菜、副菜をそれぞれの食器に分けて提供します。
- ⑤ 食物アレルギーのある園児の給食については、除去食及び代替食等にて対応します。その場合、医師による診断書等の提出をお願いします。
- ⑥ アレルギー対応の食事については、食器の色を変え、園児名とアレルギー食材を記載したカードを添付するなど、適切な対応に努めます。

<評価基準>

①保育理念・保育観、②保育計画・指導計画、③職員構成・役割分担・研修、④事務管理・運用⑤開かれた保育園 以上5項目について4段階で評価を行う。

- 4 良くできている
- 3 概ね達成できている
- 2 実施しているが一部成果が出ていない
- 1 実施していないため成果も出ていない

①保育理念・保育観		評価欄
1	保育理念等に基づいて、子どもの心に響くような保育に取り組んでいる。	4
保育理念については、常に意識し保育に取り組むよう職員会議等を通じて共有化が図れていた。		
2	保育士ひとり一人が自己評価を行い、問題解決のために向上心を持って取り組んでいる。	3
自己評価はひとり一人できていた。問題解決へ向けた課題の共有化も図れていた。		
3	子どもひとり一人への理解を深め、ありのままの個性を受け入れ、子どもたちが出すサインを見逃さず対応している。	3
子どもたちの理解に努め、ひとり一人の個性も受け入れた保育を行うことができた。		
4	子どもの発達や興味に合わせた保育内容を意識し、子どもが意欲的に遊べるようにしている。	3
子どもの発達や興味に合わせた保育が適切にできていた。		
5	子どもの成長において大切な役割を担っていると認識している。	4
子どもの成長に寄り添い、保育士としての役割を意識して保育することができた。		
②保育計画		評価欄
1	保育理念や保育目標の内容を達成できるような保育計画になっている。	4
適切な保育計画の下に保育を行うことができた。		
2	保育計画に基づき、子どもひとり一人の発達の姿や興味の対象の実態を把握して、月・週・日案などを作成している。	4
子どもひとり一人の発達の姿や興味の対象の実態を把握しながら適切な保育ができた。		
3	子どもの発達に必要な経験が得られるよう十分に工夫している。	3
子どもの発達に必要な経験が得られるような保育ができていた。		

4	保育内容が、子どもの興味・関心に合っていたかなど、保育内容の振り返りをしている。	4
子どもの興味・関心に合った保育ができているか常に職員間でコミュニケーションを取りながら振り返りを行っていた。		
5	給食について、保育士と調理員とで意見交換の場を持ち、連携して食育活動をしている。	4
保育士と調理員とで意見交換の場を適宜持ち、子どもたちの成長に合わせた適切な給食を提供することができた。		
6	献立に旬の食材を取り入れるなど、栄養バランスを考え手作りしている。	4
園で栽培した野菜を食材として使用したり季節を感じられる献立となるよう工夫を凝らした給食をバランスよく提供できた。		
③職員構成・役割分担・研修		評価欄
1	園長や副主任保育士の業務内容や役割がはっきりとしていて、それぞれの仕事を責任もって行った。	4
役割や立場を理解し、それぞれの仕事を適切にこなすことができた。		
2	保育士や調理職員は、それぞれの役割を理解し仕事に責任を持っていた。	3
役割や立場を理解し業務に取り組むことができていた。		
3	明るく健やかなクラス運営が進められ、各クラスの連携が円滑に行われた。	4
クラス運営は連携を取りながら、子どもたちが笑顔になれるような明るい雰囲気の中で保育をすることができた。		
4	危機管理意識を持ち、緊急時に対応できる体制を整えられた。	3
園運営の中で、常に緊急時に対応している体制は構築できていた。		
5	園内外の研修は、計画的に実施及び参加できた。	2
職員配置の課題などから、計画及び実施が円滑に行えない場合があった。		
④事務管理・運用		評価欄
1	子どもの記録等は、個人情報の保護に注意し管理している。	4
適切に管理できていた。		
2	職員に業務上知り得た事柄に対しての守秘義務を徹底している。	4
守秘義務の順守は適切にできていた。		
3	帳簿類は、適切に記載し整理・保管している。	4
適切に整理・保管ができていた。		
4	定期的に施設整備やおもちゃ等の安全点検をしている。	4

子どもがけがをしったりしないよう、日常的に注意・点検を行っていた。		
5	園運営が円滑となるよう適切な予算執行をしている。	3
予算範囲の中で適切な執行ができていた。		
⑤開かれた保育園		評価欄
1	地域の小学校や保育所等と連携し、交流する機会を持っています。	3
地域との交流の機会を持つことができていた。		
2	園の開放（見学会）や情報の発信（HP）を積極的に行っている。	3
魅力ある園と思っていただけるよう、適宜行うことができていた。		
3	園生活での子どもの様子を保護者や地域に積極的に伝えている。	4
HPで園の行事などを公開したり地域交流の場を持ったりする中で伝えることができた。		

関口フェルマータ小規模保育園自己評価